

平成 29 年 4 月 25 日

JR九州ファーム株式会社

JR九州ファームは GLOBALG.A.P. 認証を取得しました！

JR九州ファーム株式会社（本社：佐賀県鳥栖市、代表取締役社長：田中渉）は、3つの農場（6品目）において、農業の生産工程管理を見直し、GLOBALG.A.P. 認証を取得しました。

【GLOBALG.A.P. とは】

- ・ 目的は食品安全性を高め、「持続可能な農業」を実現することです。
- ・ 生産現場において「環境保全」「労働安全」「食品の安全性」の観点から、日々の生産工程管理を適正化する行いです。
※GAP=Good Agricultural practice：良い農業の実践
- ・ 欧州で2001年にEUREPGAPとして始まり、2007年にGLOBALG.A.P.へ名称を変更。現在では世界で最も普及している農場認証制度となっています。
- ・ 海外の小売や製造業界では仕入条件として広く運用されており、農産物に関する「最低限の安全基準」と位置づけられています。



【目的】

JR九州グループの農業会社として、農業においても「ゆるぎなき安全」をつくりあげることが目的としています。

【認証取得農場】

- 糸島農場（福岡県糸島市）キャベツ、レタス、人参、大根
- 玉名農場（熊本県玉名市）ミニトマト
- 宇土農場（熊本県宇土市）かんきつ（温州みかん、不知火、ネーブル）

【当社の特徴】

- ・ 自社独自のマニュアルを作成し、分散した複数農場（多品目）を一括管理しています。
※認証カテゴリ：オプション1マルチサイト（単一組織による複数の直営農場管理）
- ・ 栽培の記録には、システムを導入しています。《ウォーターセル株式会社『アグリノート』》

【今後の展開】

- ・ 平成29年度に新たに3つの農場で認証取得を目指します。
（大分農場：ニラ、臼杵農場：甘藷、新富農場：ピーマン）
- ・ 平成30年度以降、松浦農場（アスパラガス、ブロッコリー）、内野宿養鶏場（養鶏）の認証取得に取組み、全ての農場においてGLOBALG.A.P.を実践します。